

東三条駅前等利用実態調査結果

< 目 次 >

- 1. 調査概要 P1
- 2. 三条市公共交通網（広域図） P2
- 3. 東三条駅周辺図 P3
- 4. 東三条駅拡大図 P4

平成 27 年度三条市地域公共交通協議会
平成 27 年 11 月 2 日(月)

1 調査概要

■目的

東三条駅については鉄道の利用者はもとより、路線バスの幹線系統の起終点となっており、市街地と周辺地域とを結ぶ重要な交通結節点となっている。また、タクシーやデマンド交通の利用に加え、主に通学生徒の送迎を行う自家用車の出入りも多いことから、通勤通学の時間帯には駅前ロータリーで混雑が見られるような問題も生じている。

本調査は、東三条駅の交通結節点としての機能性に着目し、同駅及び駅周辺の交通量や人の動きといった現況を把握した上で、交通結節点としての機能を向上していくための課題を整理する。

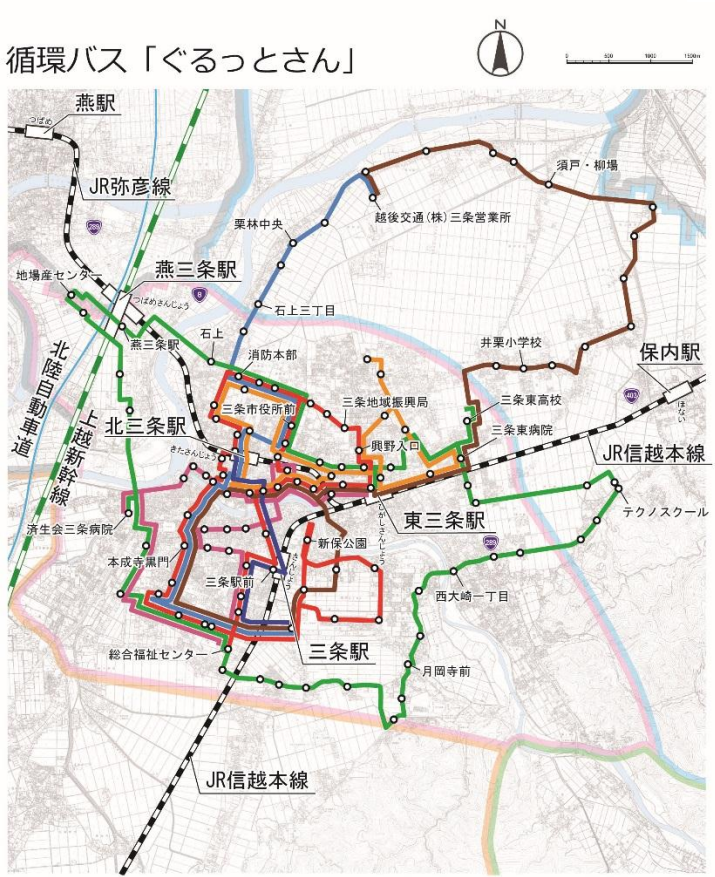
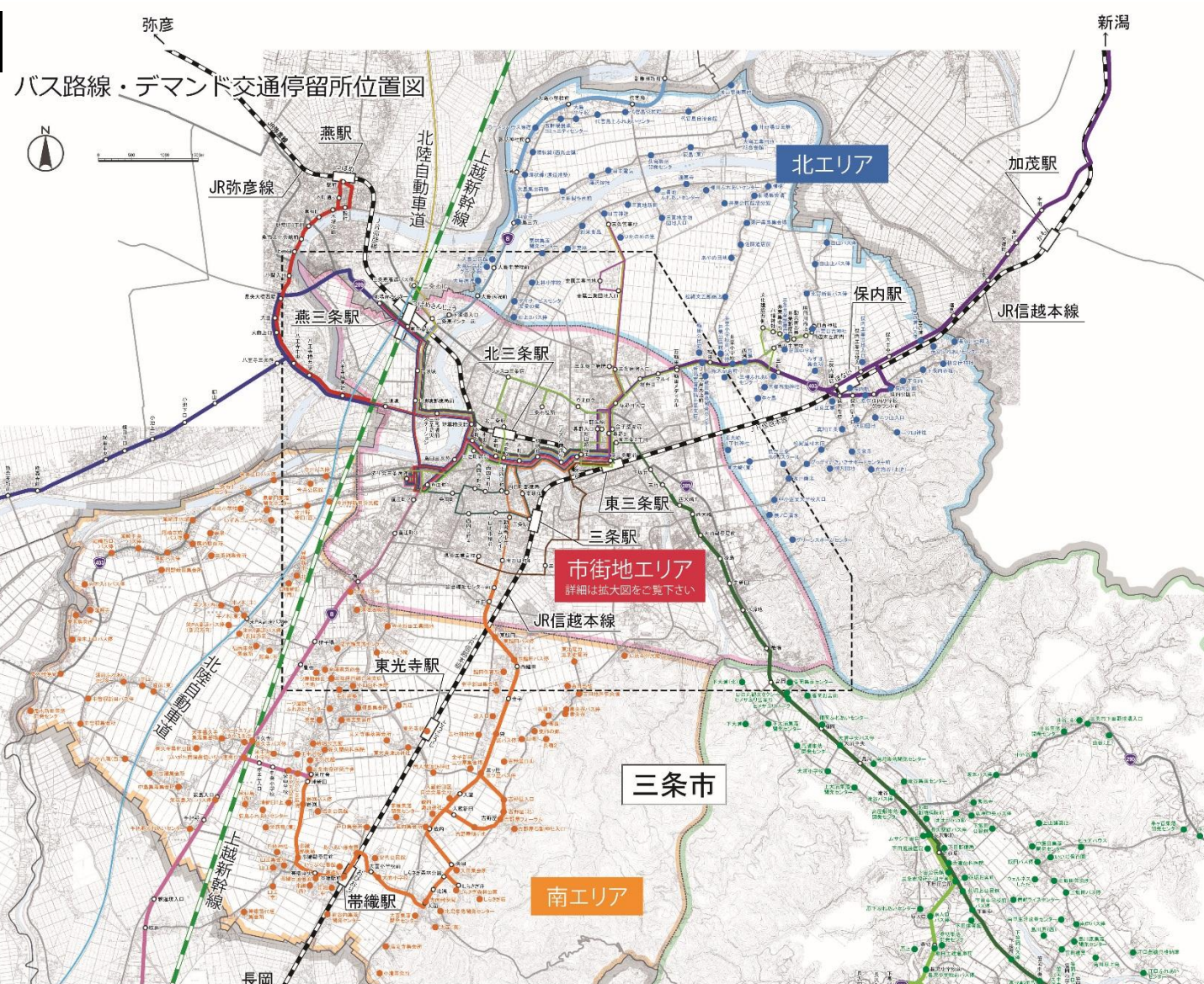
■調査項目

現地調査の実施および既存データを活用し、下記の項目について整理した。

項目	確認事項
(ア)交通体系	○鉄道、路線バス、タクシー、デマンド交通の乗り入れ状況（運行本数、利用者数など）
(イ)歩行者及び自転車の動線	○駅への動線、鉄道の南北横断動線
(ウ)駅前広場の設備	○交通空間機能（通路、各種乗降場、乗り換え案内、乗り換え待ちスペース、駐車場、駐輪場など） ○環境空間機能（休憩施設、トイレ、公衆電話など）
(エ)駅舎の設備	○券売機、改札、みどりの窓口
(オ)案内標識	○駅周辺の案内標識の設置状況

2 三条市公共交通網（広域図）

- 三条市は鉄道、高速バス、路線バス、循環バス、デマンド交通により公共交通網を形成している。
- 東三条駅は、三条市の中心に位置しており、市内の公共交通が全て乗り入れる交通結節点である。



凡 例

【高速バス・路線バス】

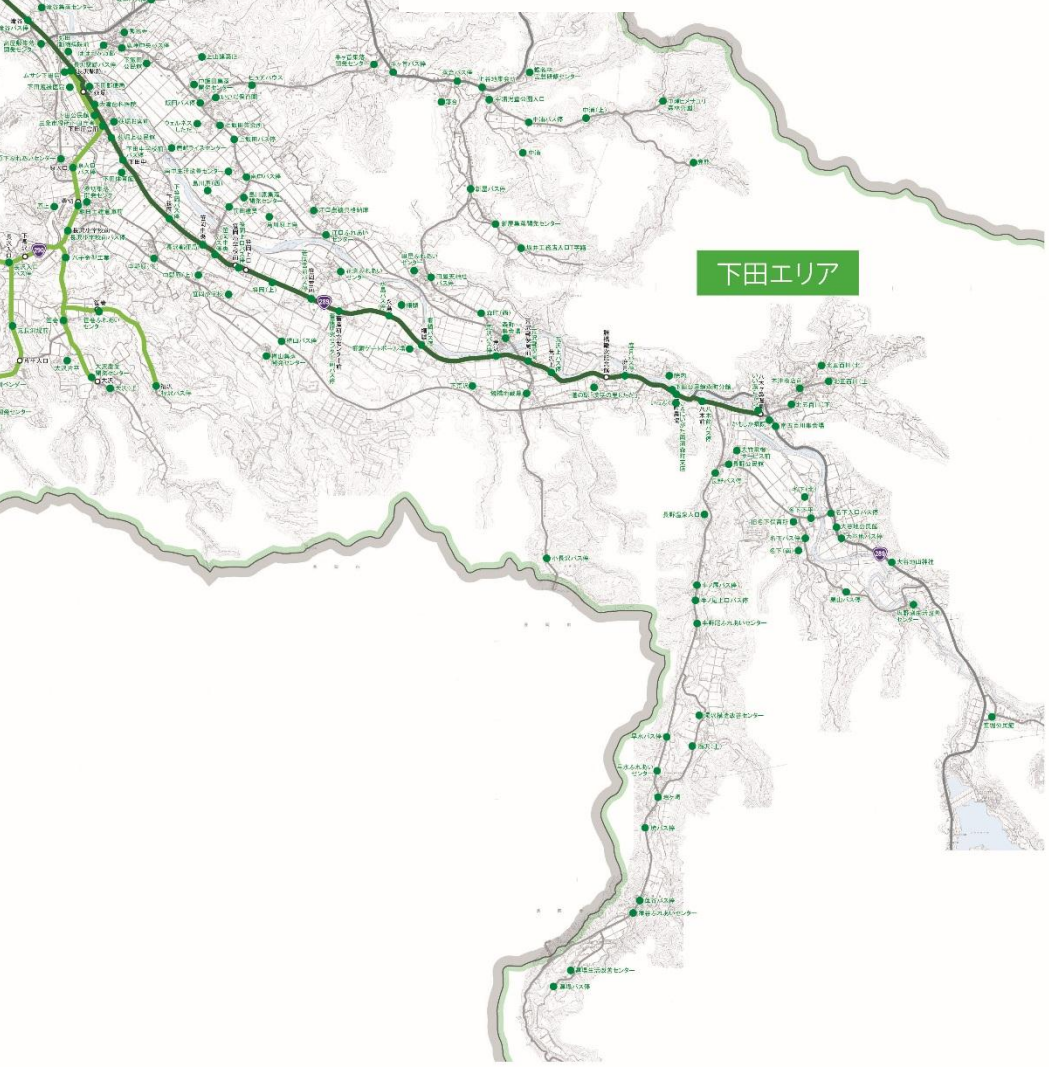
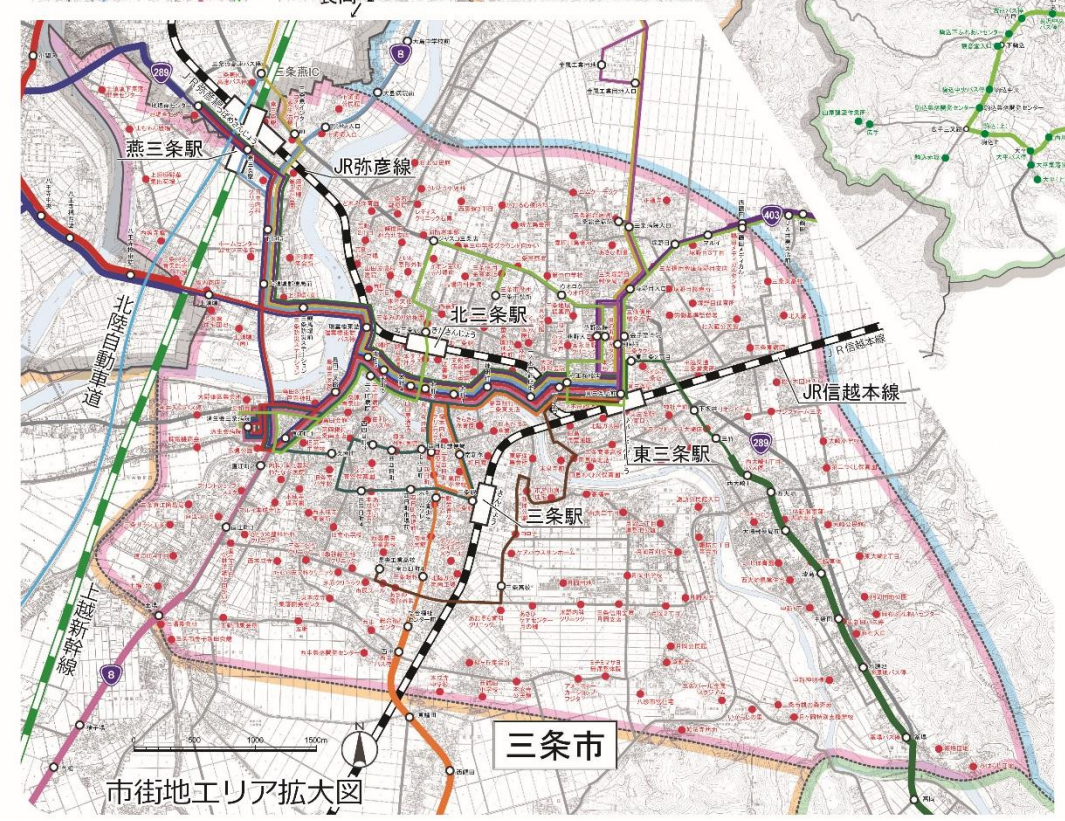
- | | |
|-----------|--------|
| 燕 線 | 越後交通 |
| 分水・寺泊線 | |
| 加茂線 | |
| 長岡線 | |
| 大 線 | |
| 三条総合病院線 | |
| 済生会三条病院線 | |
| 八木ヶ鼻温泉線 | |
| 福 沢 線 | |
| 高校生通学ライナー | |
| 新 飯 田 線 | 新 潟 交通 |
| (高速バス)新潟線 | |

【循環バス】

- | |
|---------|
| A コ ー ス |
| B コ ー ス |
| 南 コ ー ス |
| 北 コ ー ス |
| 嵐北コース |
| 嵐南コース |
| 三校ライナー |

【デマンド交通】

- 市街地エリア
- 北 エ リ ア
- 南 エ リ ア
- 下田エリア



3 東三条駅周辺図

【東三条駅周辺の状況と駅利用者の特性】

○駅周辺は市街地であり、南側には住宅地が広がっている。

○駅勢圏(半径 1km 程度)に行政施設、高校、病院、事業所などが立地していることから、当該駅は通学、通勤、通院などで利用されるものと考えられる。

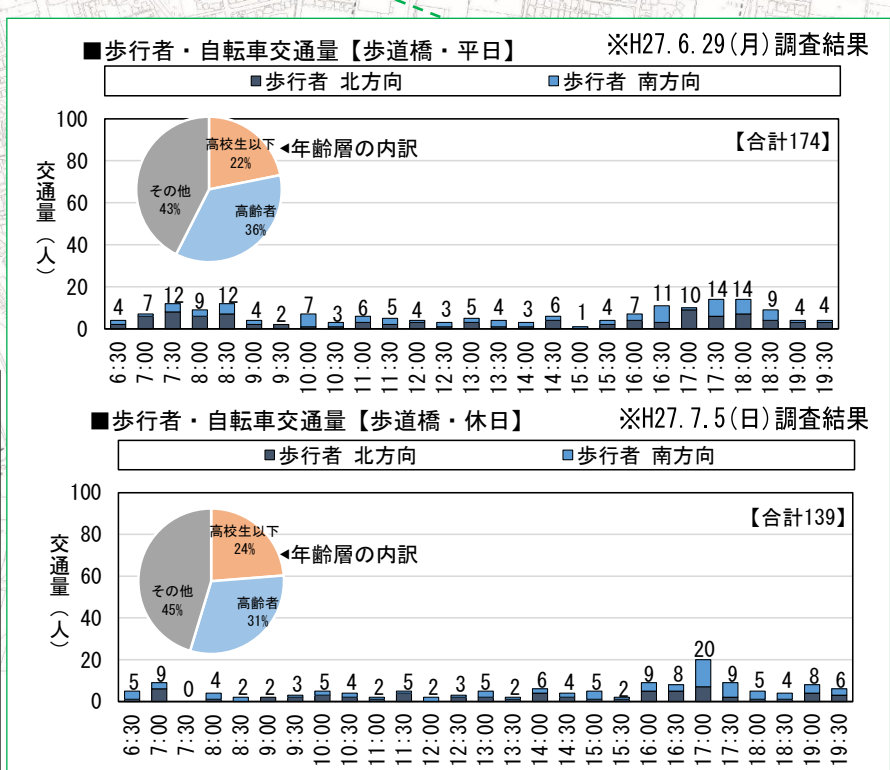
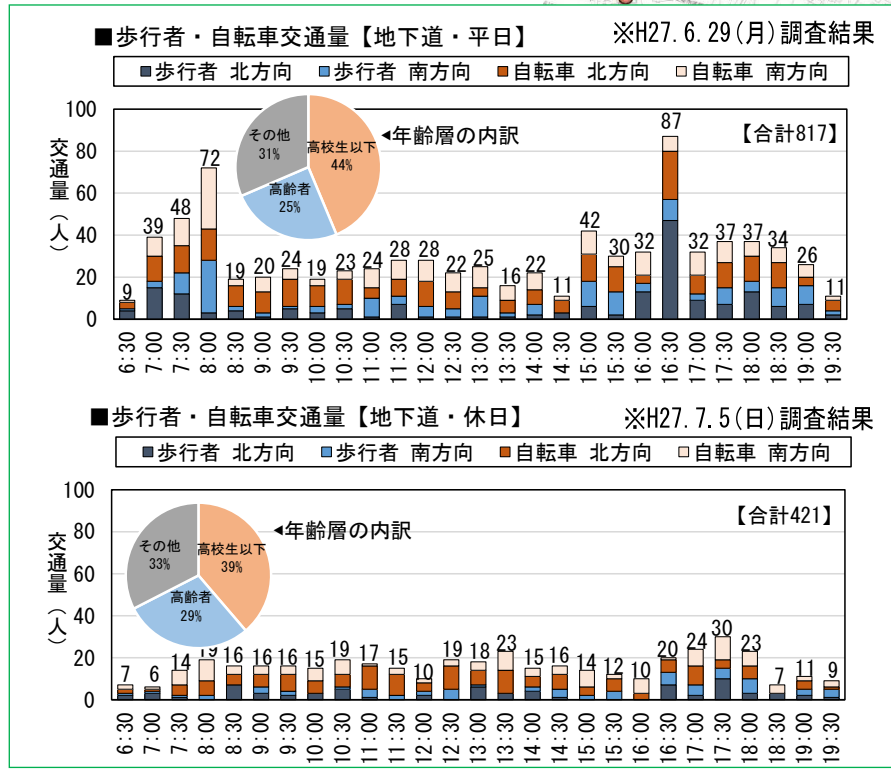
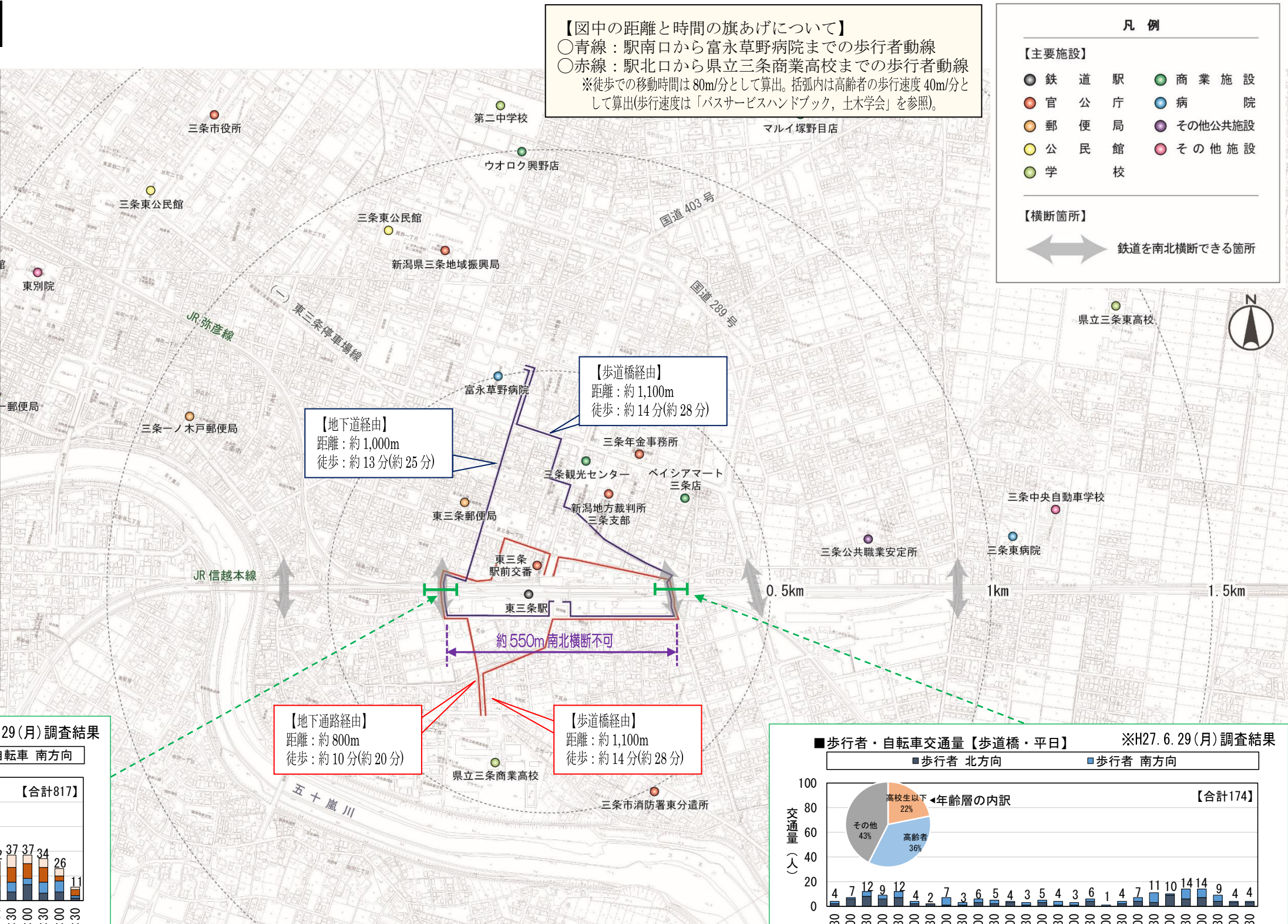
○駅周辺は鉄道で南北に分断されており、南北間の横断は西側の地下道、あるいは東側の歩道橋に迂回する必要がある。

【南北横断交通量】

○地下道は、朝夕ピーク時間帯には、70 人～80 人程度の交通量(歩行者・自転車)がある。利用者の年齢層は平日・休日ともに高校生以下が4割近くを占めている。

○一方で、歩道橋の利用者は地下道と比べると少なく、高校生以下の利用割合も低い。平日・休日ともに、交通量に大きな差はない。

○地下道は有効幅員(車止め間の幅)65cm、歩道橋にはエレベータが無いことから、車椅子利用者の円滑な移動が阻害されている。



4 東三条駅拡大図

- 北口駐輪場が飽和状態である。
- 北口広場の区画線(バスバースやタクシー待機マス等)が不鮮明な箇所が目立つ。
- 上屋が一部途切れている。
- 北口広場のバス停留所にベンチが無い。
- 駅周辺案内図が不十分である。
- 南北横断可能な駅構内通路の利用は鉄道利用者に限定されている。
- 地下道及び歩道橋への案内(サイン)が無い。

